

新庁舎等整備事業 ～基本設計の概要について～

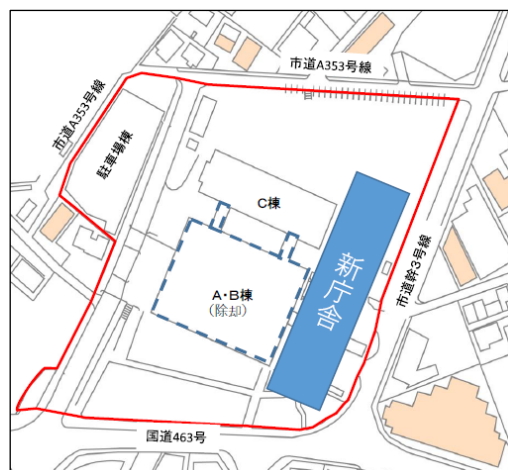
1 新庁舎等整備事業について

既存庁舎 A・B 棟については、耐震診断の結果や経年数を踏まえ、庁舎敷地内で建て替え、C 棟は改修をして使い続けることとしました。

また、庁舎の建替えに向けては、設計、施工、維持管理・運営一括発注方式（DBO 手法）を採用し、2023 年（令和 5 年）3 月に事業契約を締結しました。

庁舎 A・B 棟：1974 年（昭和 49 年）建設

庁舎 C 棟：1990 年（平成 2 年）建設



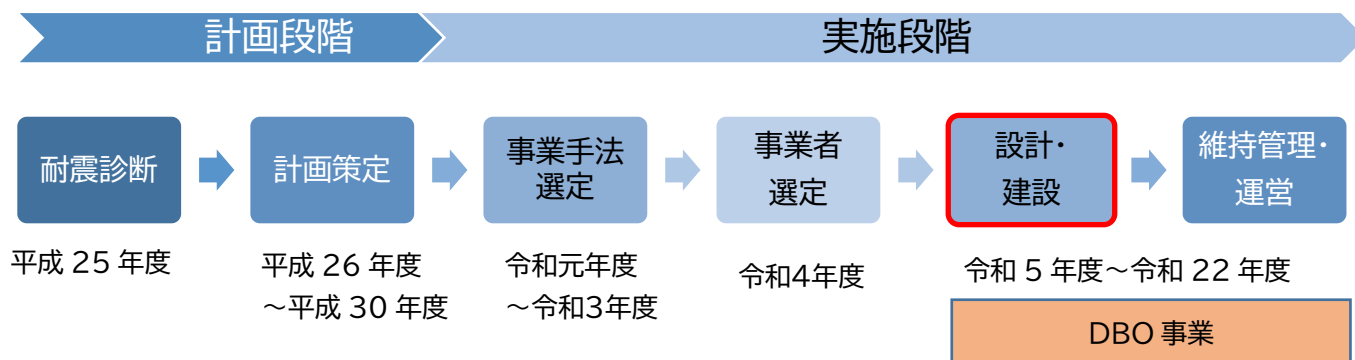
2 事業の経過

新庁舎等の整備に向けては、2014 年度（平成 26 年度）から 2018 年度（平成 30 年度）まで、整備手法等の検討を行いました。

2019 年度（令和元年度）から 2021 年度（令和 3 年度）までは、事業手法の検討を行い、DBO 手法を採用することとしました。

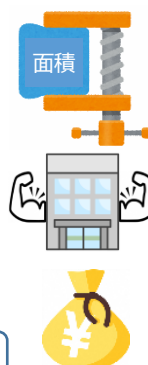
2022 年度（令和 4 年度）には事業者募集・事業者選定を行い、2023 年（令和 5 年）3 月に DBO 事業の契約を締結しました。

現在、建設に関する基本設計を進めています。



画像は現時点のイメージです

施設の特徴



コンパクト

ロングライフ

ローコスト

3 基本理念・基本方針

(1)基本理念

基本理念

交流と協働 ～市民と行政のエネルギーを1つに！～
市民どうし、市民と行政の交流と対話からまちづくりを始める場

(2)施設整備の基本方針

①市民に親しまれる開かれた施設	②災害に強く環境にやさしい施設
- 市民協働スペースの設置 - 無料 Wi-Fi の整備 など	- 免震構造を採用、オペレーションルームの設置 - 照明の LED 化、太陽光パネルの導入 など
③市民が使いやすい施設	④時代の変化に対応できる施設
- 利用の多い窓口は低層階に集約し、職員が窓口に出向くなど、市民を移動させずに手続きを完了できるように、「総合窓口」を設置 - ユニバーサルデザイン、バリアフリーを積極的に導入（双方向エレベーターの設置など）	- ユニバーサルレイアウトの導入 - 会議室などに可動式間仕切りを設置 など
⑤経済性に優れ 長期間使い続けられる施設	⑥公共施設マネジメントの モデルとなる施設
- 長期修繕計画を策定できるシステムの導入 - 施設管理状況の見える化が行え、ライフサイクルコストの低減に活用できるシステムの導入	- DX の推進や民間ノウハウを取り入れ、床面積のコンパクト化、建物の長寿命化、維持管理費の低減を図る - 整備にあたって、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を取り入れる

4 事業コンセプト

事業コンセプト

誰もが気軽に立ち寄り、集う、市庁舎 『いるまりビング』

リビングのように市民が気軽に集い、市民と職員の協働によるまちづくりを担う
市庁舎 『いるまりビング』 をつくります。

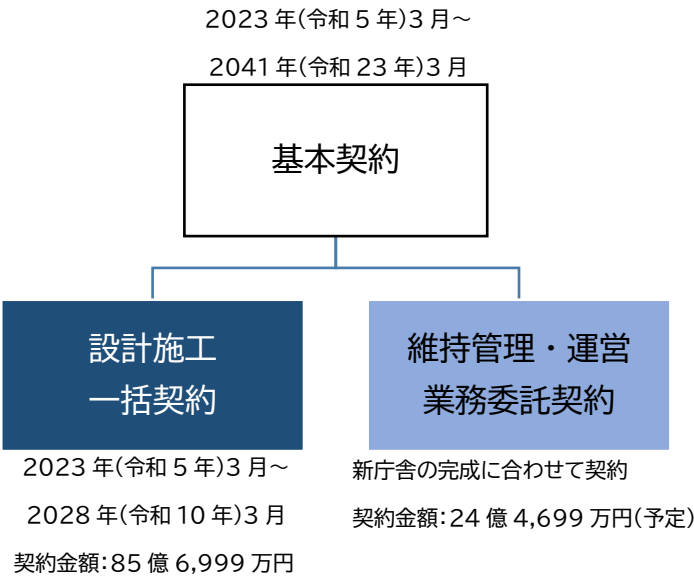
5 施設機能の特徴

①総合窓口	②市民協働棟
窓口を低層階（1・2階）に設置し、関連窓口を近接配置する	- イベント等の開催、市民の憩いの場を設置する - 来庁者の要件によっては職員が出向くことで、ワンストップで用件が済むスペース等を設置する
③市民広場	④オペレーションルーム
イベント等の開催、市民の憩いの場を設置する	防災拠点としての機能の充実を図る
⑤バリアフリー・ユニバーサルデザイン	⑥庁舎全体
誰もが使いやすい施設とする	デジタル技術やデータを駆使する

6 事業契約の概要

(1)契約形態

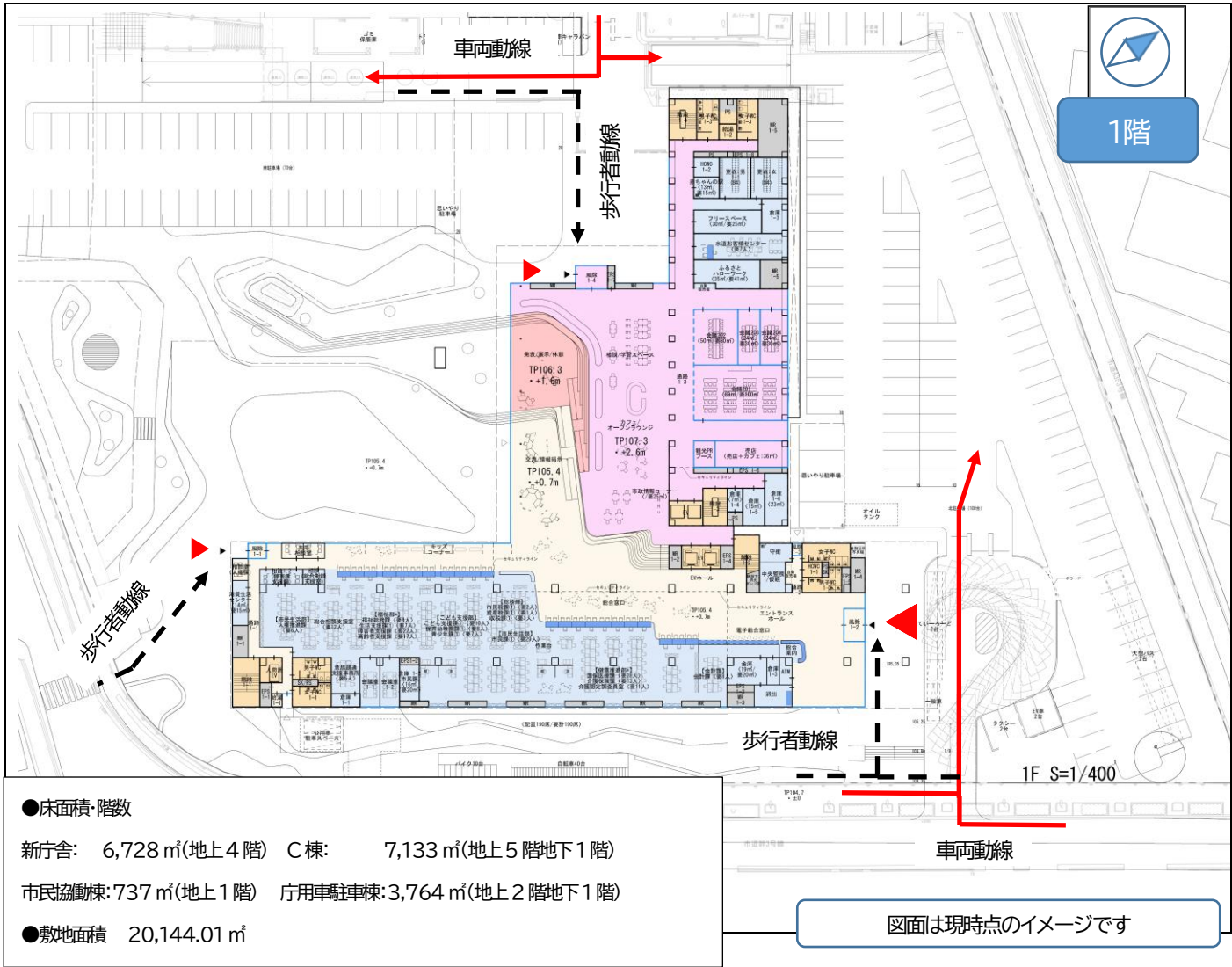
本事業は、設計、施工、維持管理・運営を一括して発注する DBO 手法を採用しています。
契約については、下図の3つの契約を締結します。



(2)事業者(契約の相手方)のグループ構成

代表企業	鹿島建設株式会社関東支店
構成企業	株式会社佐藤総合計画
	鹿島建物総合管理株式会社
	株式会社サイオー
協力企業	株式会社関電工 埼玉支店
	東洋熱工業株式会社 北関東支店
	吉沢建設株式会社
	司産業株式会社
	株式会社作田工務店
	有限会社エム・アイ・ビルテック

7 平面計画



8 各階の概要

階層	新庁舎		C 棟
5階	—		会議室・執務室
4階	—		執務室
3階	議場・議会諸室・執務室		執務室
2階	オペレーションルーム・執務室		執務室
1階	総合窓口・執務室	市民協働棟	市民協働スペース
地下	—		駐車場・書庫・倉庫等

9 スケジューリング

2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)	2025 年度 (令和 7 年度)	2026 年度 (令和 8 年度)	2027 年度 (令和 9 年度)	...	2040 年度 (令和 22 年度)
基本設計	実施設計	新庁舎建設	C 棟改修 AB 棟解体	市民協働 棟建設		
			維持管理・運営			



画像は現時点のイメージです